

令和元年5月にアビリティ共生デイが開設して今年で4年になります。機能訓練場面でも、新卒職員の育成に始まり、今年から理学療法士、作業療法士それぞれの養成校から実習生の受け入れを始めました。まずは、それぞれの疾患・障害の評価ができるように1月16日から3週間の実習を頑張っています。

何でも聞いて  
くれていいよ。

まずは信頼関係を作り、コミュニケーションが  
円滑にとれるよう利用者様の訴えを傾聴します。



実習指導者の訓練場面の見学や、実際にさまざまな利用者様に触れさせて  
いただいて、筋肉や関節の硬さ等、自分たちとは違う状態など体感します。





## 移動・移乗介助の体験



立ち上がり～歩行介助前に重心を移しながら、立ち上がりを促します。指導者に手を添えてもらいながら歩行介助を体験しています。



全介助の方の移乗介助～指導者が手を添えながら、てこの原理で前方への重心移動で臀部を挙げていきます。「学生同士では二人介助でしていたけれど、初めて一人で出来ました！！」



## 実際にいろいろな検査をして利用者様の状態を評価します

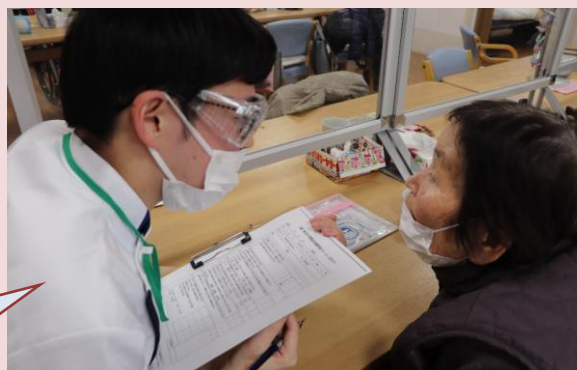


痛くないよもうちょっといけるよ。



関節可動域の測定

筋力の測定(徒手筋力評価)



認知症の検査(長谷川式)

利用者の方に話を聞くと、たくさん色々な話をして下さいます。最初は緊張していましたが、次第に緊張感もほぐれてきて楽しみながら実習できています。



様々な疾患の方を見させていただき、本で勉強はしていても実際に見た症状に驚いています。初めてする移乗動作に苦戦しながらも、毎日楽しく勉強させてもらっています。